

県大 jiman

2014

J U L Y

015

滋賀県立大学広報誌

特集

Viva La マイノリティ!!

工学女子×看護男子

ちょっとあなたのかばん拝見！県大生のマストアイテム！

突撃！jiman な先生

県大REPORT

After School Report 能楽部

Information

News 『びわ湖ナレッジ・コモンズ — 地と知の共育・共創自立圏の形成 —』の紹介



滋賀県立大学

KENDAI JIMAN

特集

Viva La マイノリティ !!

工学女子 × 看護男子

今回はマイノリティがテーマ。

工学部の女子学生と人間看護学部の男子学生は

「少数派」とされる人たちですが、

少人数教育を掲げる県大では、

少数派を感じさせない生活を送っているようです。

そこで今回は、

工学部の女子学生と人間看護学部の男子学生に、

いろいろなお話を伺いながら、

大学生活の実態にせまりたいと思います。

CONTENTS

特集

- 03 Viva La マイノリティ !!
工学女子 × 看護男子
- 07 ちょっとあなたのかばん拝見！県大生のマストアイテム！
- 09 突撃！jiman な先生
工学部材料科学科 パラチャンドラン・ジャヤデワン教授

県大REPORT

- 11 After School Report
能楽部 少数精鋭で守る滋賀での伝統文化
- 12 Information
- 13 News
『びわ湖ナレッジ・コモンズ
— 地と知の共育・共創自立圏の形成 —』の紹介

年2回発行

夏号 7月下旬
冬号 2月上旬

ABOUT

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」は県大が持つキラリと光る「jiman」なところを紹介する広報誌です。「県大 jiman」は今年で創刊8年目を迎えました。

今回の特集は、マイノリティ。実際に少数派と呼ばれている人たちに会って、生き生きとした活動が行われていることが実感できました。これからも「県大 jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、今後みなさんの協力をいただきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

学生広報スタッフ大募集！
広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。
私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか？
デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。
外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

ちょっとスタッフのかばん拝見！

デザインの面で協力させていただきありがとうございました。
県大らしさを表現できればと思っています。
(生活デザイン学科3回生 福田亮太郎)



今回もいるんな人にインタビューできたので良かったです。
(地域文化学科2回生 分部敬多)

色んな人と出会えて楽しかったです！
(人間関係学科2回生 福本萌)



予定とずれることもありましたが、編集楽しかったです！
(生活デザイン学科2回生 中道千尋)

今号も、取材や制作において得られるものは大きかったです！
元事務局の池田さん、本当にありがとうございました！
(人間関係学科2回生 井上友希)



今回は2回生スタッフがよく頑張ったので、ぜひお楽しみください！
(生活デザイン学科4回生 福島渚)

4年ぶりに県大に帰ってきました。
私がいた時から比べると大きく変化した県大 jiman。これからもどうぞよろしくお願いします。
(事務局 中嶋崇裕)



ページ増量！！
(事務局 玉井大輔)



色々な人の手でデザインが出来る事が jiman の一冊です。
(生活デザイン学科教員 佐々木一泰)



男子・女子の垣根が低くなれば、新しいものが生まれる気がします。
(機械システム工学科教員 河崎澄)



滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第15号
発行 | 滋賀県立大学広報委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2014年7月
www.usp.ac.jp

誌面デザイン：福田亮太郎、福島渚、井上友希
中道千尋、福本萌、分部敬多

工学女子は少ないので、いろんな人と交流したり友達を作るためにも、サークルには絶対入った方がいいと思います！



未来の工学女子に一言！
理系でもレポートはあるし、文章は書かなければいけないけれど、文系の科目は英語くらいなので、助かります。それでもテストがとて多いので、必死で数学や物理を解きまくってます。過去問がとても大事なので、たくさん集めた方がいいです。だから、先輩との繋がりも大切ですね。

やっぱり学習面で基礎的な知識は必要です。機械なら、特に物理ですね。授業でも使うので、しっかり身につけておかないと結構大変だと思います。

未来の工学女子に一言！

女子で工学部の機械っていうと、やっぱりどこでも話題になりますね。バイト先の近くに機械を扱っている会社があって、その社員の方に「就職困ったらうちに来いよ！」って言ってもらえました。県大の機械は、他大学と比べて実験と実習が多いから、就職の際にも評価されると聞きますよ。



一回生のときは掃除機やプリンターを分解して、どういう構造になっているかを調べて図に描いたりしました。たまに壊しますけどね……。私は目覚まし時計を壊したことがあります。あと、私たちが着るのは白衣ではなくて、作業着なんです。メガネをかけて、工作機械で金属をガリガリ削ったりしています。実は、白衣に憧れますけど。

電子や情報を学ぶ学生は、やはり男子が多いですが、私もすぐに友達ができて1年で慣れました。だから男の子はもちろん、ちょっと不安な女の子も、興味がある人は気軽に来てください！



未来の工学女子に一言！

将来のことは具体的にはまだ決まっていませんが、最近はプログラミング実験を通して情報系に強くなってきました。2回生になり、実験が専門的なものに変わって、難しいと思う反面、面白さも大いいます。

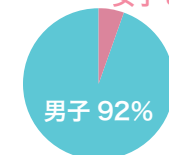
入学してからは男の子の友達がいっぱい増えました。初めはご飯も教室移動も一人で心細かったですが、でも、向こうから話しかけてくれて仲良くなって、ずっと一緒にいるうちに気にならなくなりました。今は「私、学科でたった一人の女子やねん！」って話のネタにしています。

材料科学科 2回生
白石 紗季 さん

●所属サークル／
ボランティアサークル Harmony、
政所茶レン茶（近江楽座）



工学部全学科の男女比
女子 8%
男子 92%



県大マイノリティ実態調査！

工学女子×看護男子

工学部は、材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科（以下、材料・機械・電子）の3学科に分かれています。男子学生が大半を占める中で、頑張る工学女子のみなさん！工学部の魅力を教えてください！

材料

私

は将来は化粧品を開発したいと思っています。大学で化学の研究ができたらいいなと思います。材料科学科を選びました。工学部は女子が少ないと聞いて、最初は緊張していましたが、材料は女子が13人くらいいるので、ちょうどいい団結力がありますよ。

授業は実験が楽しいのですが、その分レポートが大変です。とにかく授業についていけるように頑張っています。化学の実験では白衣を着て、液体を調合したりしています。やっぱり白衣は憧れています。嬉しそうですね。

機械システム工学科 2回生

中村 優里 さん

●所属サークル／ICEMEN（バスケット）、
Hot Chocolate（テニス）



機械

私

は高校生の頃から理系の科目が得意だったので、それを生かして就職もできたらいいなと思います。機械システム工学科を選びました。工学部は女子が少ないと思います。不安でしたが、機械は意外と女子の人数が多くて、安心しました。

実験や実習では、高校のレベルで知っていること以上に複雑な機械などが増えて、結構大変です。授業で特に楽しかったのは、名古屋のトヨタ産業技術記念館に見学に行ったこと。レポートもあつたけど、自由行動もあり充実していました。

電子システム工学科 2回生

安村 美紀 さん

●所属サークル／劇団深夜特急



電子

高

校の頃入部していた演劇部に照明部署があって、照明の配線図を見て実際にコードを繋いだりしていました。それをきっかけに「電気回路について学びたい」と思い、電子システム工学科を選びました。元々、数学や物理がそんなに得意ではないので、周りの人に助けてもらいながら勉強しています。



人間看護学部で大変だったことはありますか？

小番 周りには女子しかいなかったから、入学当初は輪に入るのが大変だったかな。最初だけですけど。

小西 実践的なこともしないといけませんので、実技のテストのために春休みも半分くらい毎日学校に行き、練習していました。

宮原 課題かな。徹夜してレポートを手書きしたときは、指にタコができるくらい大変でした。テスト直前はみんなで集まって、ギリギリまで勉強を教え合っていました。

大学生活や将来に向けて努力していることはありますか？

小西 勉強もそうですが、看護は人と関わる仕事なので、部活の中でもいろんな人と話すようにしています。

宮原 勉強が結構大変で単位落とすといけませんので、勉強あるのみですね。



将来の夢は？

小番 まずは看護師ですが、せっかく県大で資格が取れるのだから、保健師の仕事もしてみたいです。訪問看護にも興味がありますね。

小西 看護師になるのは当然として、僕はずっと地域医療に興味があったので、地元・滋賀の病院でずっと働きたいです。

宮原 やっぱり看護師。今は看護師になることが第一です。

受験生に一言！

小番 大学受験は大変なことだし、不安もあると思います。でも、自分の力になることも受験勉強で得られるはず。大学では自分から積極的に行動すると、何でもチャレンジできます。それまで乗り越えてきた経験が自分の自信になって、今後挑戦していく上での力になるとと思います。

小西 受験勉強の中には、大学では使わないものもあるだろうけど、その時に身に付いた忍耐力は将来役立つはず。勉強頑張ってください。



入学して一年経ちましたが？

小番 将来就きたい仕事を専門的に学んでいるし、特に看護は将来につながるから、勉強にやりがいを感じます。忙しいし大変だけど、その分大学生活は充実してて楽しいです。

宮原 大変だけど早かった。まだまだ看護の本質的なことはできていないから、これからが楽しみです。



入学して良かったことは？

小番 人間看護学部の学生は授業でも仲が良く、みんな協力しているから、将来役立つようなチームの団結力も身に付きました。僕はみんなをまとめることが多いので、リーダーシップや周りを動かす力がついたことが良かったです。

宮原 未来看護塾でイベントを行ったり、小さい子供と遊んだり。人と接する学部だから、普段自分ひとりでできないことができ、コミュニケーション能力が上がったと思います。

2回生
宮原 真二 さん
●所属サークル/ゴルフ、LEAFS、馬トミントン、未来看護塾

2回生
小西 朝陽 さん
●所属サークル/硬式野球部、未来看護塾

2回生
小番 裕貴 さん
●所属サークル/弓道部、未来看護塾（近江楽座・次期塾長）



女子学生が大半を占める中、マイノリティな看護男子の本音は？
人間看護学部 人間看護学科の男子2回生トリオからお話を伺いました！

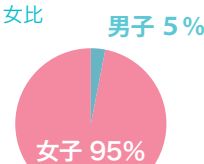
やりたいことだから、
マイノリティなんて
俺たちには関係ない。

どうして人間看護学部にな？
小番 僕は小中学生の頃から人助けができる医療関係の職に就きたいと思っていました。その頃から学校でも下の子の面倒をみるのが多く、世話好きでした。中学卒業の頃に男性の看護師という職業を聞いて興味を持ち、高校で病院の見学をして、看護師さんの働いている姿を見てカッコいいと思いました。

小西 僕は小学校からやっていた野球で人にお世話になったので、何か人のためになる仕事に就きたいと思っていました。そこで考えたのが医療職です。最初は理学療法に進もうと考えていましたが、周りの看護師さんや、看護を学ぶ先輩の話聞いてるうちに、看護がいいと思うようになりました。

宮原 僕がこの学科を志望した理由は、医療関係に就きたく、看護師をしているところからいい仕事だと聞いていたからです。

人間看護学部 人間看護学科
の男女比



県大マイノリティ実態調査！

看護男子 × 工学女子

トランプ



犬井 賢志郎さん

電子システム工学科2回生
結構年季の入っているものですが、学校で友達と大富豪をするのに、よく使っています。

藤野 将寛さん

機械システム工学科3回生
マジックサークルの部長なので、いつでも持ち歩いています。皆と遊べて便利です。

安原 輝さん

環境生態学科3回生
毎週いろんな行事やイベントがあるので、手放せません。



スケジュール帳

懐中電灯



松本 悠以さん

環境建築デザイン学科1回生
この春、彦根に引っ越してから買ったものです。夜道が暗く、まだ慣れていなくて不安だったので、買いました。

本



久保 博紀さん

人間関係学科2回生
春のマストアイテム履修の手引きと、大津の図書館で借りた本です。読書が好きで、以前は小説を読むことが多かったんですが、最近は社会学系の本を読んでいます。



クマの手帳&ペンケース



深尾 奈央さん

生活栄養学科2回生
クマが好きなので、手帳やペンケースもクマ柄のものを使っています！



ちょっとあなたのかばん拝見！

県大生のマストアイテム！

いつも持ち歩いているかばんの中身で、分かることってありますよね。
今回は、そんなかばんの中身から、県大生の実態を調査しました！
あの県大生や先生まで!? 県大生はこんなものを持っています！

山田 崇光さん

人間関係学科2回生
野球部なのでトレーニングのために、通学時間や暇な時などによく使います。これは40kgのものですが、他にも軽いものが家に何個もあります。野球に握力は大切です!!



メガネ&メガネケース



伊庭 朱音さん

生活栄養学科2回生
前から欲しかった赤いメガネと、ケースは好きな作家さんの絵が描かれていてお気に入りです。



ポーチ



片岡 紗綾さん

人間関係学科2回生
元々はドイツ製のカメラケースで、お祭りの骨董市で買いました。レトロな感じが気に入ってます！よくPSPを入れて持ち歩いています。

山上 繁政さん

生物資源管理学科4回生
読書や勉強の際、分からない言葉をすぐに調べられて、とても便利です。



電子辞書



英語の雑誌



谷口 真紀先生

全学共通教育推進機構
欧米のニュースをもとに作られた雑誌と、カルチャーを扱った雑誌で、通勤電車の中で読んでいます。自分が楽しんだり、勉強するために読んでいますが、面白い記事があれば講義でも使いますよ！

土井 隆志さん

地域文化学科2回生
毎日使う部屋のカギや定期券をここに付けています。探さずに済むし、引っ張ると伸びるので、便利です。



キーホルダーチェーン

コインケース



鈴木 万璃さん

生活栄養学科2回生
たまに駅からバスを利用する時に、いつもの財布から小銭を出すのが大変なので持っています。



島本 健太郎さん

人間関係学科1回生
人間関係学科ですが、デッサン法を履修しているので、必要になる道具たちです。



デッサン道具



突撃！ jiman な先生

まだまだマイナーですが、県大には語学関係の学科に限らず、様々な学科に色々な国から来られた先生がいらっしゃいます。今回の“jimanな先生”は、その中の一人、スリランカ出身・工学部材料科学科のバラチャンドラン・ジャヤデワン先生です。

数ヶ国語を操り、 金属を操る。

工学部 材料科学科
バラチャンドラン・ジャヤデワン 教授

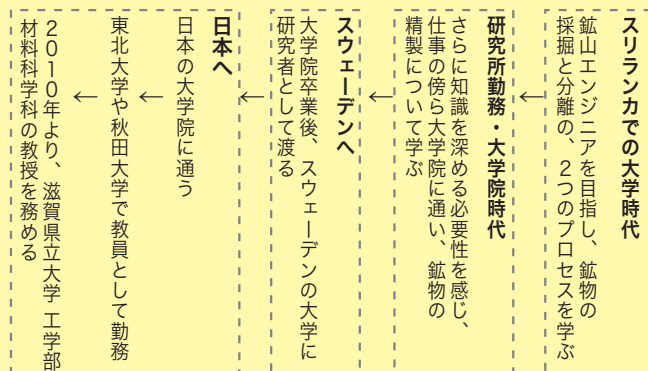


▲ 磁石に反応する磁性粒子。



HISTORY

—ジャヤ先生が県大に至るまで—



ジ
ヤヤ先生が担当するのは金属材料分野。金属は「バルク」という大きいものと「ナノ」という小さなものに分けられ、先生は主にナノの研究を行っている。

「ナノの金属は錆びやすいので精製から気を付けないといけない。錆びないようにしないといけないから、水も使えない。そのために有機溶媒の中で金属を作るといって、合成の技術をもっと磨いて、様々な機能性を持ったナノを作ること目標に、日々研究しています。」

ナノの金属の研究は、直径数十ナノメートル（1ナノメートルは1ミリの百万分の1）の極細電線（ナノワイヤー）や、導電性インク、触媒の材料への応用が期待されている。



ナノ金属の精製に使用する、様々な評価装置。
原子間力顕微鏡 ▶



◀ 液体急冷装置



EBSD付き走査型電子顕微鏡 ▶

一人ひとりの行動が、 大学の将来を決める

ジャヤ先生の目標は、もともとと県大を上げ、強くしていくことだ。「一人ひとりの行動が、県大の将来を決めていくものになると思います。常に上を目指すためには職員だけでなく、学生も力になっていくことが大切です。だから、意識が大切ですね。」

先生たちもそう思って行動しないといけないし、諦めたらそこで終わります。

学生をどのように教育していくのか、すぐに変えることはできないですが、長いスケールで考えていく。皆さんその力になってもらえることを期待しています。」



次にマスターしたい言葉は、「スペイン語」とのこと。英語とスペイン語を話せると、世界の多くの国の人々と会話できるようになるからだそうです。「最近車の中でも、CDを聴いて勉強しています。」

Information

受賞／表彰

個人（教員等）

生活デザイン学科 南 政宏 助教
滋賀県商工観光労働部
ココールマザーレイク・セレクション2013

材料科学科 山下 義裕 講師
日本繊維機械学会
日本繊維機械学会フェロー

環境建築デザイン学科 永井 拓生 助教
国際住宅建築賞「AR House Awards 2014」
Highly Commended

環境建築デザイン学科 芦澤 竜一 准教授
第17回木材活用コンクール 木材開拓賞

環境建築デザイン学科 永井 拓生 助教
第17回木材活用コンクール 部門賞

環境建築デザイン学科 芦澤 竜一 准教授
第5回木質建築空間デザインコンテスト
最優秀賞

国際コミュニケーション学科 橋本 周子 助教
第31回沢沢・クロードル賞
ルイ・ヴィトン・ジャパン特別賞

個人（学生）

工学研究科
機械システム工学専攻博士前期課程
2年 近藤 大地
公益社団法人自動車技術会
大学院研究奨励賞

団体（学科・クラブ）

環境建築デザイン学科
陶器造一研究室
永井拓生 研究室
第5回建築コンクール 最優秀賞

環境建築デザイン学科
陶器造一研究室
永井拓生 研究室
日本建築学会 作品選奨



人事

着任
(平成26年4月1日付)

川口 恭子	人間看護学部 助手	高倉 耕一	環境科学部 准教授
中村 和代	人間看護学部 助手	竹下 宏樹	工学部 准教授
橋本 周子	人間文化学部 助教	一宮 正義	工学部 准教授
杉浦 由香里	人間文化学部 助教	横田 尚美	人間文化学部 准教授
小熊 猛	人間文化学部 准教授	村井 洋一	地域連携推進グループ 統括
山田 歩	人間文化学部 助教	小澤 恵子	人間文化学部 准教授
山田 歩	人間文化学部 助教	柳沼 勇多	総務グループ 主幹
橋本 周子	人間文化学部 助教	伊香由美子	(財務グループより)
中村 和代	人間看護学部 助手	総務グループ 主幹	
川口 恭子	人間看護学部 助手	経営企画グループ グループ統括	
		久保田 貢	(地域連携研究推進グループより)

着任
(平成26年5月1日付)

財務グループ 副参事 藤木 良和
財務グループ 副参事 坂口 健
財務グループ 主 幹 前田 正志
財務グループ 副主幹 河本 隆英
経営企画グループ 主事 中嶋 崇裕
学生・就職支援グループ 主幹 堀口 貴代
教務グループ 主事 山埜 弘貴
地域連携推進グループ グループ統括 村井 洋一

所属替え

総務グループ 主幹 伊香由美子 (財務グループより)
総務グループ 主幹 柳沼 勇多 (学生・就職支援グループ(兼)財務グループより)

退職
(平成26年3月31日付)

環境科学部 教授 沢田 裕一
環境科学部 教授 富島 義幸
工学部 教授 中川平三郎
工学部 教授 松本 泰雄
工学部 教授 小川 圭一
工学部 教授 近藤 千尋
工学部 教授 木村 真之
工学部 教授 池之上卓己
人間文化学部 教授 道明美保子
人間文化学部 教授 吉田 一郎
人間文化学部 教授 寄本 知憲
人間文化学部 教授 岡本 秀己
人間文化学部 教授 宮尾 学
人間看護学部 教授 奥津 文子
人間看護学部 教授 松井 陽子
財務グループ 主事 谷口 愛美

退職
(平成26年6月30日付)

財務グループ 主事 谷口 愛美

能楽部



少数精鋭で守る 滋賀での伝統文化

Q どんな指導を受けていますか？
A プロの楽士の先生に京都からこちらまで来ていただいています。親子で先生をしておられる方です。

Q 能楽部の自慢は？
A 滋賀県内で唯一の能に関する部活ということですね。京都はもう少し盛んなんですけど、滋賀、しかも彦根という、少し離れるところなので（笑）。
でも彦根は、能には恵まれてる土地です。彦根城の博物館の中にある能舞台で公演をさせて頂けており、それはすごく光栄なことです。

Q 能楽部の魅力はなんでしょう。
A 伝統文化を身近に感じられることが一番ですね。それに、普段では触れることのできない世界と関わることが出来ます。能ってやっぱりちよっと世界が違うので。普段の何気ない大学生活に対して、こうした伝統文化にも触れておくと、そうした日常とはまた違う世界を知ることが出来ます。まあ、入ればわかるようになって感ですね。

Q 入部したらその着物は貸し出されるんですか？
A これはだいたい自前です。でも、今履いている袴は学校に貸し出して頂いています。私達も新入生には全力でサポートしますし、一緒に着物を買に行ったりしますよ。

Q 特別なルールはありますか？
A 挨拶ですかね。プロの先生方から「挨拶が基本だ」と何度も言われています。

Q メンバーにはどんな人が多いですか？
A 変なところで詳しいというか、「能」のモデルになっている源氏物語や平家物語に詳しい先輩がいたり、博識な人が多いです。あと、変わってる人が多いかな（笑）。

Q 能楽部は初心者でも入れますか？
A むしろ初心者の方がいいです！

Q 能楽部は初心者でも入れますか？
A 変なところで詳しいというか、「能」のモデルになっている源氏物語や平家物語に詳しい先輩がいたり、博識な人が多いです。あと、変わってる人が多いかな（笑）。



山田さんの部屋に響き渡る声に合わせて石田さんが舞っている。「仕舞」という謡（うたい）を披露していただいた。

絶賛部員募集中！



能楽部
●部員数／8人●活動日／月、火、木曜日の放課後●場所／カルチャールーム1 (学生ホール内)●活動内容／舞や謡（うたい）の稽古

公演会
●日時／9月14日●場所／彦根城●演目／淡海能（たんかいのう）／能面

Q お二人はどうして能楽部に入れたのですか？
A 新入生歓迎公演というのがありまして、そこで見て「ああすごいな」と思って、ちよっと覗いてみようかなって思ったのがきっかけですね。

Q 新入生や在學生にメッセージを！
A 何かひとつやりたいこと、興味を持ったことを見つけてほしいです。またその選択肢の中に能楽部を入れていただけたらと思います！

『びわ湖ナレッジ・コモンズ ― 地と知の共育・共創 自立圏の形成―』が採択されました。

文部科学省の平成 25 年度「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業（※））」に、滋賀県立大学が申請した『びわ湖ナレッジ・コモンズ ―地と知の共育・共創自立圏の形成―』が採択されました。

滋賀県立大学は、県東北部唯一の総合大学としての多様なシーズ・実績を活かし、関係自治体などとの連携のもと、少子高齢化や若者人口減少に起因する様々な地域課題に対し、教育、研究、社会貢献の観点から解決に取り組みます。

News

地と知の共育・

共創自立圏の形成

びわ湖
ナレッジ
コモンズ

※COC
COCは「Center of Community
(センター・オブ・コミュニティ)」の
略称で、大学が、全学的に地域を志向
した教育・研究・地域貢献を進めるこ
とで、地域コミュニティの中核的存在
としての大学の機能強化を図ることを
めざしています。

近江地域学会の設置

近江地域の住民、事業者、行政研究者、教育者そして学生が近江地域の価値に磨きをかけ、よりよい未来の創造に寄与することを目標に、研究と交流の場として近江地域学会を設置しました。

近江地域学会とは、水平型・公開型のオープン・アソシエーションの形態を取り、地域課題解決のため各主体（研究者、地域で活動する人、NPO、企業、行政等）が対話・交流・融合できる場です。学会の活動を通して、地域横断的な研究成果の公開や交流から各地域で具体的・創発的な活動に波及することを目指します。

2月22日（土）、本学交流センターにおいて、約200名ものご参加をいただき、「近江地域学会」設立記念シンポジウムを開催しました。



近江地域学会の設立シンポジウム



パネルディスカッション

当日は、島根県隠岐郡海士町長の山内道雄氏による「ないものはない―地域再生への挑戦」と題した基調講演に続き、地域の第一線で活躍の方々も交え、「共育・共創―人が育つ地域づくり」と題したパネルディスカッションが行われました。

公募型地域課題研究

COC事業の一環として実施するもので、関係自治体をはじめとした地域との緊密な連携のもと、地域課題の解決や地域を志向した教育の推進に向けた研究に積極的に取り組むことで、本学教員の「地域志向」を一層強固にするとともに、「地域における「知の拠点」として、地域の再生および活性化に寄与すること」を目的としています。



地域でのフィールドワーク

地域の空家活用の研究を契機とする 大学立地 地元八坂の地域づくり

上田洋平（全学共通教育推進機構）

「地域の空家活用の研究を契機とする大学立地地元八坂の地域づくり」は、本学COC事業における公募型地域課題研究に採択されて平成25年度にスタートした研究活動です。彦根市八坂町では近年少子高齢化等起因して空家が増加傾向にあり、防犯・防災、地域の活力減退等様々な点から問題視されています。こうした地域課題を受けて、立地地元である条件を活かし、大学の知的・人的資源を導入して地域の空家を活用する方策を研究することになりました。研究を踏まえた域学連携による空家活用の実践を通じて、空家の不良資産化に歯止めをかけるとともに、空家の再生・活用を契機とする地域内の活動人口の増加やコミュニティ機能の回復あるいは発展充実につなげることも目指しています。



地元の方を大学に招き、聞き取りを行いました

地元との連携

地元との連携として、八坂自治会長には地域連携研究員として参画いただきました。また本学近江楽座で活躍している学生の協力も得ました。おかげで、学生も交えた多様な面々で八坂の地域づくりについて議論する素地をつくることができました。

滋賀県立大学と八坂町とは、これまでのさまざまな取り組みから、単にそこが大学の立地地域であるというだけではなく、種々な利害を共有する関係にあります。一部の学生にとってはそこは下宿のある生活拠点であり、自身が集落の構成員であるという関係にあります。また祭りにあたっては神輿の担ぎ手としてそれに参加することを期待される地元の構成員として学生生活をおくっています。

また他方では授業でのフィールドワークや、実習・卒業研究のフィールドとしてなど、教育研究にかかる身近な地域でもあります。

一方、地域が大学の知的資源あるいは学生をはじめとする人的資源を活用して―特に地域課題の解決や地域づくりについて―利益を得ることに關してはまだまだ可能性がありません。

昨年度中には、

- 【1】集落内の空家に関する現況調査
- 【2】空家の増加を含む地域課題にかかる意識調査と課題解決に向けた意向調査、
- 【3】1、2を踏まえた課題解決の方策に関する研究を行いました。
- また【4】研究成果の地元への報告と活用策の提案、それに関する意見交換も数回にわたり実施することができました。研究は共同研究者である松岡拓公雄先生や先生の指導を受けていた院生の米田海視さん（現在社会人）と共に進めています。

「近江楽座」の「とよさと快蔵プロジェクト」等学生による近隣地域での先進的取組の実績も、今こそ大学の立地地元八坂で活かせるだろう。と研究を始めるにあたってそんなことも念頭にありました。なにより、COC事業、そして今回の研究は、私自身が1期生として入学して以来20年近くにならないうような形で世話になり、「八坂が上田を『先生』にしたようなもんや」などと言って下さる方もあるほどにゆかり深い地域に改めて向き合える良い機会になる、そんな気持ちもありました。

八坂という立地、そして地元の課題解決のための研究と実践を通じて、「地域に根差し、地域に学び、地域に貢献する」「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」という本学開学の理念を実現することに寄与し、大学の種々の資源を活かして大学の立地地元ならではの地域づくりにつなげていきたいと思います。

「県大 jiman」について

琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って「自信」する、明るく前向きに活躍する気持ちをロゴにデザインしました。

県大イベントカレンダー

- 7月** 02日 第5回就職セミナー（仕事研究セミナー）／
大学院入学試験（工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程）
09日 第6回就職セミナー（社会人＋就職準備セミナー）
16日 第1回琵琶湖塾（山折哲雄氏）
26-27日 オープンキャンパス2014
8月 （上旬～9月下旬）インターンシップ
08日 夏季休業開始
18-20日 集中講義期間
25日 大学院入学試験（工学研究科博士前期課程）
26日 3年次編入学試験（工学部）／
大学院入学試験（工学研究科博士後期課程）
28日 大学院入学試験（人間文化科学研究科生活文化学専攻博士前期課程）
30-31日 荒神山ロックフェス2014
9月 03日 第2回琵琶湖塾（仙石由人氏）／3年次編入学試験（環境科学部）
06日 3年次編入学試験（人間看護学部）
10-12日 集中講義期間
17-19日 集中講義期間
24-26日 集中講義期間
24日 大学院入学試験（環境科学研究科博士前期課程）
25日 大学院入学試験（環境科学研究科博士前期課程）
26日 大学院入学試験（環境科学研究科環境計画学専攻博士後期課程）
28日 夏季休業終了
29日 後期授業開始、後期公開講義開始
10月 01日 第3回琵琶湖塾（原一男氏）
16日 第7回就職セミナー（就職活動本番準備セミナー）／
16-17日 大学院入学試験（人間文化科学研究科地域文化学専攻博士前期課程）
21日 大学院入学試験（人間看護学研究科修士課程）
29日 第4回琵琶湖塾（公開琵琶湖塾）（吉原知子氏）／
第8回就職セミナー（就職活動体験談発表）
11月 07日 「湖風祭」前日準備（全学休講）
08-09日 大学祭「湖風祭」
10日 「湖風祭」後片付け（全学休講）
12日 第9回就職セミナー（業界研究）
15日 第10回就職セミナー（SPI試験対策セミナー・模擬テスト）
19日 第5回琵琶湖塾（公開琵琶湖塾）（渡部陽一氏）
23日 特別選抜試験
26日 第11回就職セミナー（職種研究）
29日 第12回就職セミナー（一般常識試験対策セミナー・模擬テスト）
12月 03日 第13回就職セミナー（会社の見方・調べ方）
06日 TOEIC-IPテスト
07日 第14回就職セミナー（ES対策セミナー・模擬テスト）
10日 第15回就職セミナー（自己PR作成セミナー（PROG説明会））
17日 第6回琵琶湖塾（山口絵理子氏）／
第16回就職セミナー（GDセミナー）
25日 第17回就職セミナー（学内業界企業研究会事前説明会）
27日 冬季休業開始
1月 05日 冬季休業終了
06-08日 集中講義期間
（中旬）業界企業研究会
16日 大学入試センター試験前日準備（全学休講）
17-18日 大学入試センター試験
24日 第18回就職セミナー（面接対策セミナー）

KENDAI JIMAN